



各 位

2026年4月10日

会 社 名 株式会社 ダイブ
代表者名 代表取締役社長 庄子 潔
(コード番号：151A 東証グロース)
問合せ先 執行役員管理本部長 大野 友裕
(TEL. 03-6311-9833)

**苗場プリンスホテルの冬季 300 名採用を「スポット BPO」で完結
属人化からの脱却と人件費コントロールの可視化を実現
観光業界の人手不足と繁閑差に対応**

全国 5,900 施設以上の観光施設に特化した人材サービス事業を行う株式会社ダイブ（東京都新宿区 代表取締役社長：庄子潔、証券コード 151A、以下ダイブ）は、日本屈指のスキーリゾート「苗場プリンスホテル」に対し、観光業特化型 SaaS「ハッサク」と実務代行を組み合わせた「スポット BPO」の提供を通じ、冬季 300 名規模の採用支援を実施いたしました。

本支援では、人材エージェント対応やスタッフの書類管理といった実務を代行することで、特定の担当者への業務集中を解消し、長時間労働の削減に寄与いたしました。また、採用進捗を「ハッサク」上でリアルタイムに可視化したことにより、早期の人件費予測やデータに基づく適切な採用可否の判断を可能にするなど、人事管理体制の構築を支援いたしました。

詳細につきましては次頁以降をご参照ください。

以上

苗場プリンスホテルの冬季300名採用を「スポットBPO」で完結
属人化からの脱却と人件費コントロールの可視化を実現
観光業界の人手不足と繁閑差に対応

全国5,900施設以上の観光施設に特化した人材サービス事業を行う株式会社ダイブ（東京都新宿区 代表取締役社長：庄子潔、証券コード151A、以下ダイブ）は、日本屈指のスキーリゾート「苗場プリンスホテル」に対し、観光業特化型SaaS「ハッサク」と実務代行を組み合わせた「スポットBPO」の提供を通じ、冬季300名規模の採用支援を実施いたしました。

本支援では、人材エージェント対応やスタッフの書類管理といった実務を代行することで、特定の担当者への業務集中を解消し、長時間労働の削減に寄与いたしました。また、採用進捗を「ハッサク」上でリアルタイムに可視化したことにより、早期の人件費予測やデータに基づく適切な採用可否の判断を可能にするなど、人事管理体制の構築を支援いたしました。



【取り組み概要】

- ・ 契約開始日：2025年11月1日
- ・ 対象施設：苗場プリンスホテル
- ・ 管理範囲：冬季スタッフ（約300名規模）の採用進捗管理、40社以上の人材エージェント調整、スキルシート等書類の一元管理、着任案内、欠員時の後任手配代行
- ・ 使用システム：ダイブ開発の「ハッサク」導入による業務一元化



■ スポット BPO 導入の背景

毎年冬季に約300名のスタッフを確保されている苗場プリンスホテルでは、40社を超える人材エージェントへのオーダーや膨大な書類管理が特定の担当者に集中し、慢性的な長時間労働が大きな課題となっていました。

また、採用の進捗状況データが散在していたことから、リアルタイムな充足状況の把握に時間を要し、現場の不安感から必要以上の人数を確保してしまう「過剰採用」のリスクも懸念されていました。

ダイブでは、このような属人化による管理業務の不安定さを解消し、シーズン本番の前に円滑な人事管理体制を構築すべく、冬季の数ヶ月間に特化して人事機能を拡張する「スポット BPO」を提案いたしました。システムによる情報の一元化と、ダイブの BPO チームによる実務代行を組み合わせることで、突発的な欠員への迅速な対応や、煩雑な情報整理をワンストップで行える環境を共に整備してまいりました。

NEWS RELEASE

■苗場プリンスホテル

苗場地区 管理部門 支配人 山本 和幸 様コメント

最大の狙いは、人的リソースの適正配分と長時間労働の撲滅でした。苗場では毎年300名以上のスタッフを新規採用しますが、職種や入寮枠などの緻密な調整業務が通常業務を持つ担当者に集中し、大きな負担となっていました。シーズン本番前ではありましたが、管理業務の安定稼働を実現させるためスポットBPOの導入を決断しました。

リアルタイムで充足状況が見える化されたことで、人件費コントロールの精度も格段に向上しました。リゾート型ホテルにとって、期間限定で活用できるBPOは、今後の人材問題を解決する非常に有効な選択肢であると感じております。

苗場プリンスホテル サービス チーフマネジャー 田島 恒史 様コメント

現在はBPOチームから整理された情報が届くので、返信の負担が減り採用までのスピードが上がりました。以前は就業開始時期の変更時に情報を探し直す手間がありましたが、現在はBPOチームが統一されたフォーマットに合わせて情報を整えてくれているため、即座に状況を遡れます。

また、就業辞退の際も迅速に後任手配が進むため不安がなく、以前は気づくのが遅れがちだった「就業期間の延長確認」の進捗まで把握できるほど、工数の変化を実感しています。今後はより現場のメンバーにもシステムを活用してもらい、より良い採用活動につなげていきたいと考えています。

苗場プリンスホテル 管理 アシスタントマネジャー 齋藤 多広 様コメント

以前は紅葉シーズンの営業に 40 社以上の人材エージェントから電話が入るなど、対応に追われ自身が出勤を増やしてしのぐしかありませんでした。導入後はスタッフのリストが一元化され、スタッフ 300 名分の書類から探していた手間も、就業しているスタッフさんの名前検索機能ひとつで解決。40 社への一括案内や、BPO チームが現場と直接連携してくれるので、私への直接の電話確認は劇的に減少しました。

採用業務から軽減されたことで、勤怠管理や人件費報告、寮の管理といった本来のコア業務に注力できるようになりました。最大の成果は、1 月の段階でシーズン終了までの人件費予測ができたことです。充足状況が可視化されたことで、現場責任者とも『いつ採用をストップするか』という判断をデータに基づき円滑に行えるようになりました。今回導入していなければ通常業務が回らなくなっていたかもしれません。

■今後の展望

今回の「スポット BPO」導入により、苗場プリンスホテルは属人化していた採用業務から脱却し、データに基づいた効率的な人事管理への転換を実現いたしました。

ダイブは今後も、観光業界特有の繁閑差や人手不足という課題に対し、SaaS「ハッサク」と BPO を掛け合わせた柔軟なソリューションの提供を拡大してまいります。全国の観光施設が、従業員のフォローやお客様へのサービス向上といった本来の付加価値業務に専念できる環境を整え、観光業界の持続可能な運営体制を後押ししてまいります。

▼導入事例について：記事の全文は、下記リンクよりご覧いただけます。

<https://lp.ha-saku.com/works/naebaprincehotel.html>

▼観光業界特化型 SaaS「ハッサク」に関連するリリース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000229.000034289.html>

NEWS RELEASE

【株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド・概要】

会社名 : 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
設立 : 2021年12月
代表取締役社長 : 代表取締役社長 社長執行役員 金田 佳季
本社所在地 : 〒171-0022 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
サイト : <https://www.seibuprince.com/ja>

【株式会社ダイブ・概要】

会社名 : 株式会社ダイブ
設立 : 2002年3月
代表取締役社長 : 庄子 潔
本社所在地 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-1-12 PMO 新宿御苑前2F
サイト : <https://dive.design/>

Dive | MISSION

一生モノの「あの日」を創り出す。

2024年——
世界経済フォーラム (WEF) の「旅行・観光開発指数レポート」において、日本は、世界3位¹⁾を獲得した。

国際的にみても成長産業である、観光業。新興国を中心に、世界中で中間層²⁾の人口が増加³⁾し、観光市場は拡大している。

中国、東南アジアやインドなど、アジア圏の経済成長は著しく、旅行者は増えつつけている。

日本には地の利がある。アジア圏から近い。自然、歴史・文化、食、など観光資源は充分だ。交通インフラ、安全面、サービス水準は一級品といえる。

グローバルで競争力がある、日本の観光業。目の前には、勝てるチャンスが転がっている。

日本政府は、観光業を「日本経済の成長エンジン」と位置付けた。

「失われた30年」を嘆くのは、もうやめよう。さあ、日本は、次の30年を勝ち取りにいくときだ——。

*1 World Economic Forum 「The Travel & Tourism Development Index 2024」2024.5
*2 世帯年間可処分所得が5,000ドル以上～35,000ドル未満の所得層 (経済産業省「消費白書2010」, 40)
*3 内閣府「2030年の展望と改革タスクフォース報告書」2017.1

©2024 Dive Inc.

【株式会社ダイブ・概要】

会社名 : 株式会社ダイブ
 設立 : 2002年3月
 代表取締役社長 : 庄子 潔
 本社所在地 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-12 PMO 新宿御苑前 2F/3F
 サイト : <https://dive.design/>

ダイブは、日本経済の成長エンジン「観光業」の大課題を解決すべく、事業展開しているベンチャー企業です。

基幹事業である観光施設に特化した人材サービス（リゾートバイト）においては、観光施設の大課題である「人手不足」の解決に寄与しており、年間14,555人の観光従事者を創出。日本人人材と外国人人材あわせて、全国47都道府県の累計5,900施設以上の観光施設と、人材のお取引実績があります。

また、新規事業の地方創生事業では、全国6カ所の非観光地（過疎地・消滅可能性自治体を含む）において、D2Cの観光事業を展開。収益の創出・外貨の獲得はもちろん、地域事業者と連携することでのサステナブルな地域づくりに貢献しております。

その他にも、グランピング施設に特化したWEBメディア「GLAMPICKS（グランピックス）」の運営をはじめとした宿泊施設に対しての集客支援など、IT領域での事業展開も積極的に行っております。